

北海道大学発ベンチャー「株式会社 RAINBOW」設立

～再生医療・幹細胞を用いて脳や脊髄の病気の治療を目指す～

【ポイント】

- ・ 脳や脊髄の病気を幹細胞を用いた再生医療で治すための「北大発ベンチャー」*を設立。
- ・ 既に進行中の脳梗塞に対する治験（脳梗塞亜急性期治験）以外にも、脳出血への治療などの開発を進めている。
- ・ 北海道大学病院と協力し、脳梗塞・脳出血・脊髄損傷等に対する治験を進め、標準治療の確立に務める（脳梗塞慢性期治験を2023年に開始する予定）。

【概要】

革新的な医療技術のイノベーションにおいて、シーズとなる技術を有する大学の存在がさらに注目される中、その知的財産や研究開発成果の社会実装の手段として、大学発ベンチャーの創出・育成が重要視されています。

この度、北海道大学病院（以下、北大病院）の川堀真人特任准教授（神経細胞治療研究部門・脳神経外科）・七戸秀夫准教授（臨床研究監理部）・實金清博名誉教授（脳神経外科）および富山大学の黒田敏教授（脳神経外科）らは、北大病院脳神経外科で研究開発を進めてきた自家間葉系幹細胞の技術を活用し、脳や脊髄といった中枢神経疾患に対する再生医療の事業展開と、本学における更なる産学連携の高度化に資することを旨として、「株式会社 RAINBOW」を起業しました。（2019年8月9日設立、10月8日「北大発ベンチャー」認定）

RAINBOWは **R**esearch on **A**dvanced **I**ntervention using **N**ovel **B**one marr**O**W stem cell（革新的技術による骨髄幹細胞の研究と治療）を意味し、幹細胞を困っている患者様に届けることを願って命名しております。

現在、北大病院で進行中の医師主導治験（脳梗塞亜急性期：治験責任医師 川堀特任准教授）に技術サポートで協力するとともに、脳梗塞慢性期（2023年開始予定）に対する治験の準備を進めています。

今後は、北大病院が開発してきた幹細胞培養技術に加え、幹細胞移植に必要な医療器具、再生医療の効果判定が可能となるソフトウェアなどを通じて、真に患者様に届く世界初の再生医療等製品を広く世に出すことを目的として事業展開して参ります。

【用語の説明】

* 北大発ベンチャー： 北海道大学の研究成果、人的資源を活用して起業されたベンチャー企業

お問い合わせ先

北海道大学病院神経細胞治療研究部門 川堀 真人（かわぼり まさひと）

T E L 011-706-5987 F A X 011-708-7737 メール kawabori@med.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学病院総務課広報・国際企画係（〒060-8648 札幌市北区北14条西5丁目）

T E L 011-706-7631 F A X 011-706-7627 メール pr_office@huhp.hokudai.ac.jp